

# 火災ゼロ NEWS

## あなたもできる火災予防

安全で安心な暮らしをサポート！  
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

### 自然災害のあとに潜む火災危険！

「**通電火災**」は少しの注意で防ぐことができます。

#### いざ！ 防災

— 使える防災情報コラム —

#### 『通電火災に注意！』

##### ○通電火災とは！

「通電火災」とは、台風や地震などの自然災害により停電し、その後、電気が再び通電することで発生する火災のことです。

例えば、地震の揺れで損傷した電気配線や台風によって浸水し内部が濡れたままの電気製品に電気が流れたため、電気配線や電気回路にショートやトラッキングが発生して出火したり、停電後、電気ヒーターのスイッチを「ON」の状態のまま避難したため、電気ヒーターが発熱を再開して、電気ヒーターに触れていた可燃物が過熱され無人の住宅から出火したりする事例があります。



【通電後に発生したトラッキング現象】

##### ○停電が発生した時は！

「通電火災」の怖さは、避難して誰もいなくなった室内から時間差で出火することにあります。停電になった場合は、次の「3つのポイント」に注意しましょう。

#### ●通電火災を防ぐ 3つのポイント

##### 1 電気機器のスイッチを切る！



##### 2 電源プラグをコンセントから抜く！



##### 3 ブレーカーを落とす！



停電した場合は、電気製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。特に、避難する際はブレーカーを落とすようにしてください。

##### ○停電が復旧されたら！

停電が復旧し、電気が使用できるからといって、一度水に濡れてしまった電気製品を乾かして使用するのは危険です。

一見、故障箇所が見当たらない電気製品も内部に故障があり、電気が流れると出火する可能性があります。どうしても必要な電気製品がある場合は、自分の判断で使用せずメーカーに相談するなどの対処（点検・修理）をして、十分に安全を確認してから使用するようにしてください。

昨年の東日本台風（台風第19号）では、郡山市内でも阿武隈川などが氾濫し、床上浸水被害や停電が多く発生いたしました。自然災害のあとに潜む「通電火災」は少しの注意で防ぐことができます。

大切な家族や財産を守るために火の用心をお願いします！



トラッキング現象再現動画  
(郡山消防YouTubeチャンネル)